

令和7年2月28日

保護者の皆様

千代田区立番町幼稚園  
園長 中村 千絵

## 令和6年度 千代田区立番町幼稚園 保護者アンケート結果報告

日頃より本園の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、先日、実施させていただきました幼稚園教育に関するアンケートにつきまして、ご協力をいただき、ありがとうございました。今回のアンケートから見えてきた課題をしっかりと受け止め、また、評価いただいている部分に関しても更なる充実を目指し、今後の教育活動に活かしてまいります。引き続きご支援、ご協力のほどお願いいたします。

### 【アンケート結果の概要と本年度の教育について】

○保護者アンケートについて、94%のご回答をいただきました。

- ・ 多くの保護者の方からご回答をいただいたことに厚く感謝を申し上げます。また、自由記述にたくさんご意見をいただきました。具体的なお提言もたくさんいただきましたので、極力、記載させていただきました。ご意見を可能な限り、取り入れながら、保護者の皆様とともに、幼稚園の教育を創ってまいります。

○全項目において、ほとんどの項目で、よくあてはまる、または、だいたいあてはまる、という評価をいただきました。

- ・ 幼稚園の教育について肯定的な回答をいただき、ありがとうございました。十分でない、あるいは分からないと感じているご意見を真摯に受け止め、改善に向けて努力してまいります。

○全項目の中で特に高い評価をいただいた項目は、項目11「自然環境」(とてもそう思う94%)項目10「主体的に遊ぶための環境」(とてもそう思う90%)です。

- ・ 本園では、自ら主体的に環境に関わって遊ぶ「好きな遊び」を中心として、教育を行っています。自分で「やりたい」という意欲をもち、より遊びを面白くしようと目的をもって、試行錯誤する、このためには、豊かな環境が必須となります。毎日の教育活動の後、「今日の遊びは、どうたらもっと探究に向かえるのか」「この遊びの子どもたちがちょっと難しくても挑戦しようと思う素材は何か」と考え、翌日の教育環境を創っております。環境について、高い評価をいただけたことは、教職員一同にとって大きな誇りとなります。ありがとうございました。

○高い評価をいただけたことに感謝を申し上げるとともに、だからこそ、身を引き締めて、番町幼稚園の子どもたちに必要な、そして求められている教育内容、方法、環境を今後も探ってまいります。

# I 令和6年度 幼稚園 保護者アンケート結果

回答者数  
63名/67名

A…とてもそうおもう B…そう思う C…そう思わない D…全くそう思わない ?…分からない

## I 指導の重点について

### 1 特色ある教育活動「わあ！すごい！出会い」

これらの教育活動を通して、本物に触れる機会や多様な文化に触れる機会を大切に、豊かな感性や表現力が育てられている。

年齢	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない
全体	87%	13%	0%	0%	0%
3歳児	92%	8%	0%	0%	0%
4歳児	94%	6%	0%	0%	0%
5歳児	78%	22%	0%	0%	0%

「パラリンピアンの方との機会や障害をもたれた方との交流や車椅子を実際見たりすることは、とてもいいことだと思います。」「子どもが小さいと劇やコンサートに行く機会も少ないと感じていました。知らなかった多様な文化に触れる機会がよいと感じています。」など、特色ある教育での様々な講師との出会いや、体験ができることを、高く評価していただきました。また、保護者参加ができる行事での時間変更がある場合には、掲示があるとよいのご意見もありました。事前の通知の他、登園時に掲示をし、保護者の皆様が確認できるように取り組んでまいります。

### 2 特色ある教育活動「へえ！そうなんだ！共感」

これらの教育活動は、保護者や地域の力を活用したり、共に経験したりすることで、社会に開かれた教育活動が展開されている。

年齢	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない
全体	70%	30%	0%	0%	0%
3歳児	67%	33%	0%	0%	0%
4歳児	88%	12%	0%	0%	0%
5歳児	61%	39%	0%	0%	0%

「親子で参加する機会が多く、思い出作りにもなります」と園内での親子行事の機会について触れていただきました。「親子で遊ぼうは毎年パパたちが活躍する最高の場です」「親子でファンタジーは楽しくて、貴重な時間でした」など、番町幼稚園ならではの行事の価値についても、温かいご意見がありました。次年度も、番町幼稚園でできることを、保護者の皆様と共に、保育を進めていくことができるよう努めてまいります。

### 3 特色ある教育活動「えっ！？面白い！創造」

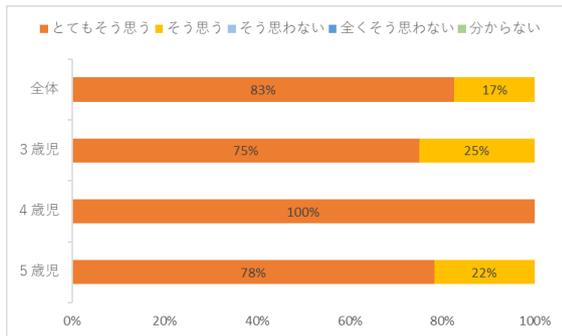
これらの教育活動を通して、子どもたちは、多様な体験の中で、十分に考えたり試したり、創り出したりする楽しさを味わっている。

年齢	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない
全体	83%	17%	0%	0%	0%
3歳児	79%	21%	0%	0%	0%
4歳児	94%	6%	0%	0%	0%
5歳児	78%	22%	0%	0%	0%

「自分がやりたいことができる環境が整っているように思います」「家庭でも子どもから工作したものを話題にしてくれています」と、日々の好きな遊びについても温かいご意見をいただきました。「番町ラボの取組は、こんな風にしてみよう、どうなるかな？と新しいものを創造したりするいい機会だと感じる」など今年も、番町ラボについてのご意見も数多くいただきました。行事で経験したことを、好きな遊びでも十分に取り入れて遊んでいくことができるような環境を次年度も取り入れていきます。

#### 4 保護者と共に子どもを育てる『共育』を進める

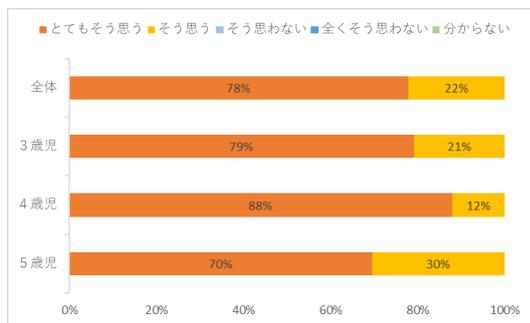
園は分かりやすく子どもたちの様子を伝え、情報を共有することで、保護者の皆様と一緒に子どもたちを育もうとしている。



「降園の際も当日の様子を話していただき、楽しく過ごしていることがうかがえます」「日頃の写真掲載や、懇談会のスライドショーがありがたいです」と日々の教師とのコミュニケーションについて温かいご意見を数多くいただきました。「動画や写真が自分たちで取れると良い」とご意見もいただきました。参観時の写真・動画撮影は、学級の幼児の個人情報が含まれますので、ご遠慮いただいております。子どもたちの普段の園生活の様子を、直接見ていただける機会ですので、温かく参観していただけますと幸いです。

#### 5 地域と共に子どもを育てる『共育』を進める

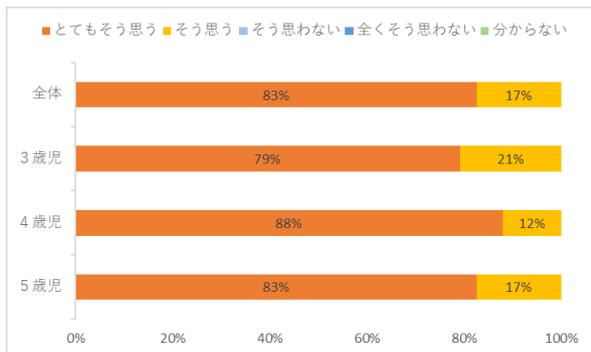
園は、地域の行事に積極的に参加し、地域の人材や教育資源を活用しながら、地域の皆様と一緒に子どもたちを育もうとしている。



「山王祭や、番町子ども会など、地域の方々とも交流する機会があると感じた」「お祭りに先生方が参加されているのを見て、核家族が多い中で共通の場所・知っている方がいるというのはこのような気持ちになれるのだという発見でした」と、今年山王祭に参加したことも子どもたちの貴重な経験になっていると地域に対しての熱い思いをいただきました。これからも地域の皆様と一緒に子どもたちの成長を喜ぶことができるよう、努めてまいります。

#### 6 教育目標「考える子」

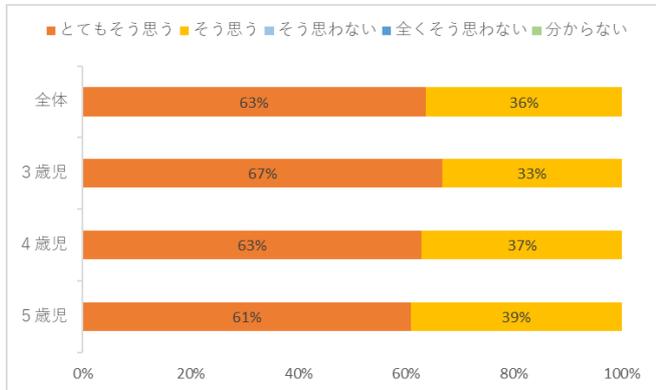
- ③おひさまは、園生活を楽しむ中で、好きな遊びを見つけて、自分で考え取り組んでいる。
- ④遊びの中で工夫したり、試したりすることを楽しんでいる。
- ⑤行事や遊びの中で、自分の考えをもち、目的に向かって力を発揮しようとしている。



「やりたい、やってみたいを伸ばしていただく教育をしていただいていると感じている」「家での遊びが自由な発想が更に変化し作っていく中で当初の目的の変化も楽しんでいます」「運動会や子ども劇場などの発表までの間、どのような段階を経ているかよく伝わってきます。作成段階に時間をかけ、話し合うことの大切さを保護者として再認識いたします」といった温かいご意見をいただきました。今後も子どもが、自分のやりたいことの実現のために、自分の思いをめぐらせ試行錯誤してことを、豊かな環境を整えながら大切にしていきたいと思います。

## 7 教育目標「思いやる子」

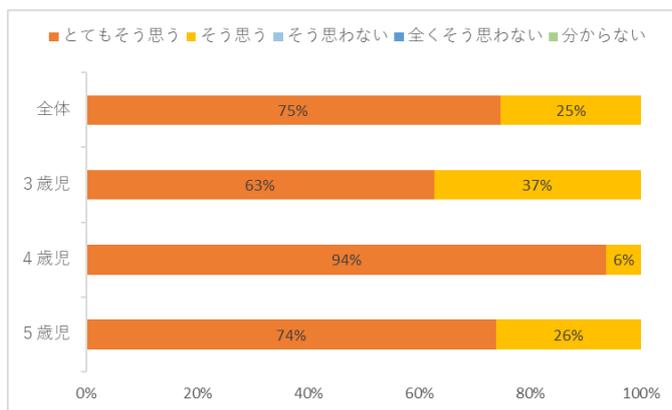
- ③先生や友達と遊ぶことを楽しむ中で、自分が大切にされていると感じている。
- ④友達との考えや気持ちの違いに気付きながらも、遊びを楽しみ、自分の思いを相手に伝えている。
- ⑤自分の思いを伝えるとともに、相手の気持ちを理解し、相手を大切にしようとする気持ちをもって、友達との遊びを楽しんでいる。



「お友達や先生がいるから幼稚園が好きと言います」「自分と相手の性格の違い、気持ちの違いなど、他人への理解を少しずつ学んでいると感じています」「自分がしてもらって嬉しい、これをされたら悲しい、があって、じゃあお友達はどうか？というも以前より考えられるようになってきたかなと思う。自分の意見を聞いてもらうこともあれば、相手の意見を聞いてより良くしたり、合わせたりすることも大事なんだなと感じてきている様に思う」といったご意見をいただきました。引き続き、自分と相手は違うと感じる経験や葛藤経験をする中で、本当の意味での思いやりを育てていきます。

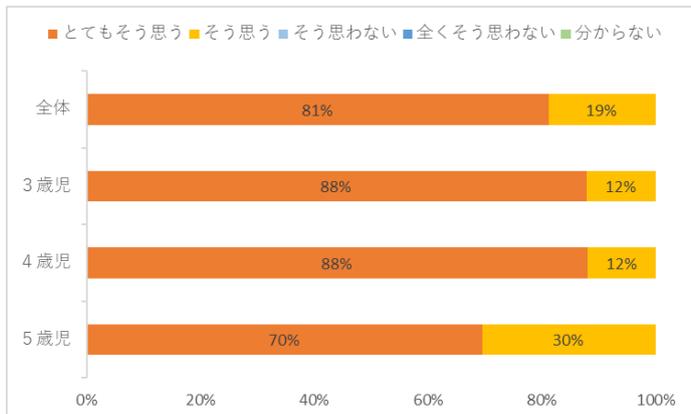
## 8 教育目標「やりぬく子」

- ③遊びや生活の中で、「自分のことは自分です」ことが分かり、自ら遊ぼうとしている。
- ④自分でやりたい遊びを見付け、遊びを実現するために、あきらめずに取り組もうとしている。
- ⑤少し難しく感じられることに対しても、挑戦しようとする気持ちを持ち、自ら取り組もうとしている。



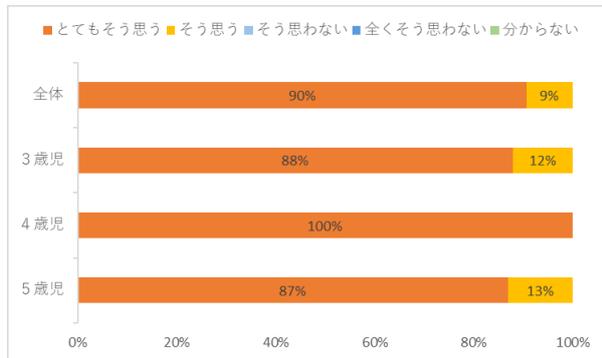
「自立心が育った」「最初は自分の中で失敗が続くと投げ出そうとするが、幼稚園で〇〇できて凄かったなあと親が一言その場の雰囲気を変えると、落ち着いて『僕はできたんだ』と思い出しました取り組み始める」「出来なさそうな事は、初めからやらないという感じが以前はあったが、どうやったら出来るか友達からコツを教わったり、苦手なものも一度はチャレンジしてみよう！という考え方に変わってきて、出来るようになるまで続けてみよう、出来るところまで努力してみようの気持ちも育ってきた様に感じる」というご意見をいただきました。引き続き、年齢発達や、一人一人の子どもに合った方法で、子どもたちの「最後まで諦めずやりぬく力」を育てていけるように努めてまいります。

## 9 園は、一人一人の子どもの思いや行動を受け止めようと努め、子どもたちが安心して自己を発揮できるよう、温かく指導・援助している。



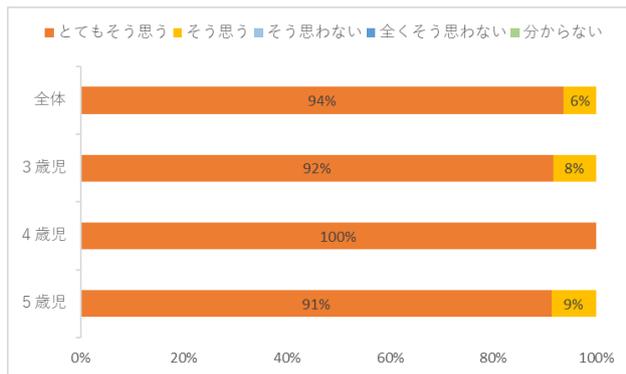
「教員方の言葉からは基本的には十分指導をいただいているかと思うが、周囲に悪影響となりうるような動作について、どういった対応をされているか気になる」というご意見をいただきました。社会的に許されないことに対しては、子どもに分かりやすいよう、適切に指導してまいります。「子どもが先生を大好きな様子を見ているので、一人一人に寄り添い、温かく見守ってくださっているのがよくわかります」といったご意見をいただきました。今後も一人一人が自己を発揮することができるよう指導・援助の工夫に努めてまいります。

10 園は、子どもたちが主体的に遊びに取り組めるよう、自然の不思議さと出会う環境、製作等の表現が楽しめる環境、イメージをもってごっこ遊びが楽しめる環境を用意している。



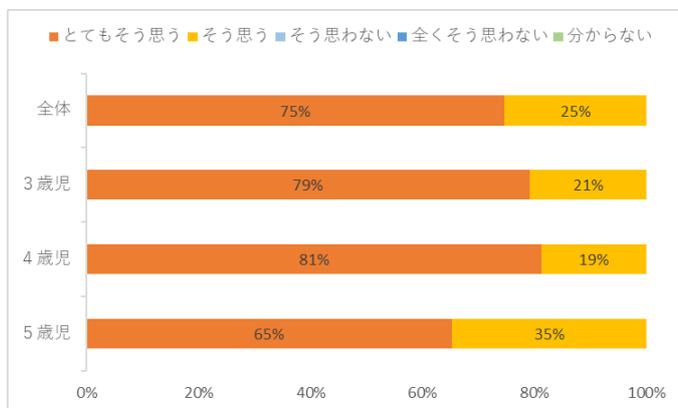
「先生に与えられた遊びではなく、子どもたちが自分たちで興味がある遊びに取り組んでいる」「雪が降ったら、翌日は氷遊びや雪遊びなど、自然の環境に応じて、対応していただいていると思う」「子どもたちが遊びやすいように、探求する喜びを感じるようにとても工夫してくださっていると思う」といったご意見をいただきました。今後も子どもたちの経験を支える環境の充実に努めてまいります。

11 園は、子どもたちが季節を感じ、豊かな自然環境に出会い、不思議に感じ、親しみの気持ちをもちながら世話をしたり、疑問に思ったことを考えたいような環境を用意している。また、栽培物を調理し、みんなで食することを通して、収穫の喜びを感じられるような指導をしている。



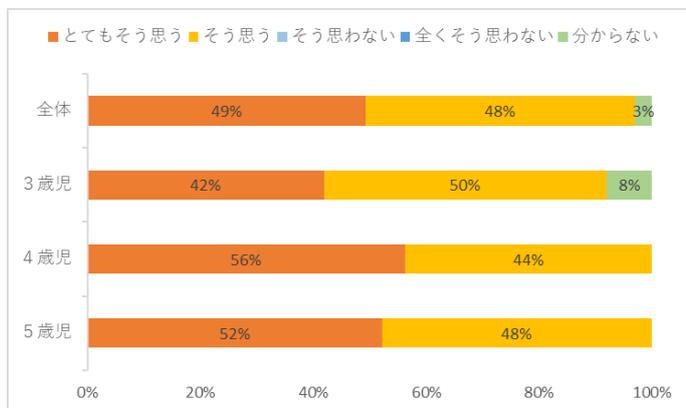
「野菜のことなどいろいろな興味がわいてきて家でも料理をしてくれました。食材も、生長、収穫や調理過程、みんなで食べることで食べられるようになっていく旬のモノを自然と学べ、食材にとっても興味を持つことができる」「採れたての野菜の美味しさを家で話してくれたり、自分が切った野菜が使われた事を元気いっぱい話してくれる」等のご意見をいただきました。また、「あひるのホワホワが天に召されて、少し寂しく思います。また大きい動物が幼稚園に来たらいいなあと思っています。」というご意見をいただきました。今後も豊かな栽培経験を通じた食育を推進していきます。また、動物の飼育は、かけがえのない命の大切さを身をもって実感することで、命をいたわる気持ちを育みます。アヒルの飼育は、適切な時期を考え、進めていく予定です。

12 園は、多様な体の動きを経験し、主体的に体を動かして遊ぶことを楽しんだり、バランスの取れた心身の発達を促したりするように指導している。



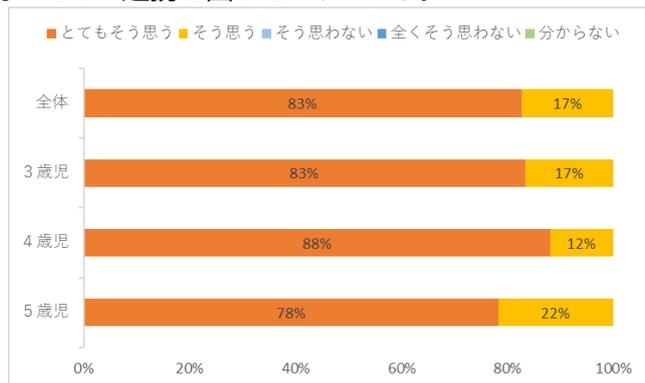
「朝のスポーツタイムで思いきり身体を動かして遊ぶ姿が印象的です」「スポーツタイムを見学させていただいた際、思いきり身体を動かしていて、子どもがとても楽しそうでした」「水遊びやコーディネーショントレーニングなどさまざまな遊びを毎回楽しみにしています」等のご意見をいただきました。一方で、「プール遊びは、中止の日が多く残念でした」というご意見もいただきました。近年、猛暑日が増え、水遊びのできない日も多くなっています。水遊びの経験を十分に重ねられるよう、来年度は日にちを伸ばす予定です。

13 園は、互いの違いに気付いたり、諸外国の文化や多様な価値観に触れられたりするよう環境設定や援助をし、子どもが受け入れ合い、認め合う態度や人権感覚が身に付くように指導している。



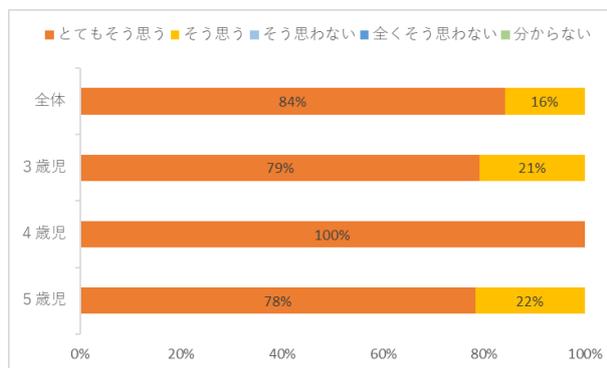
諸外国の文化については、「ジェイ先生との時間は、自然と英語や異文化に触れるいい機会です」等のご意見をいただいた一方で、「もも組なのでまだその機会が少ないかもしれないと感じます」というご意見もいただきました。ALTとの関わりは、年齢発達を踏まえて3歳児の3学期から実施し、5歳児を中心に行っています。また、多様な価値観について、一人一人が多様であってよいことを教職員が意識し、それぞれの幼児のよさを認めていくとともに、自他の違いに気が付き、受け入れることができるような関わりをこれからも行っていきます。

14 園は、併設する施設(校庭や講堂等)を有効的に活用したり、小学生との交流を計画的に実施し、小学校への円滑な接続のための連携を図ったりしている。



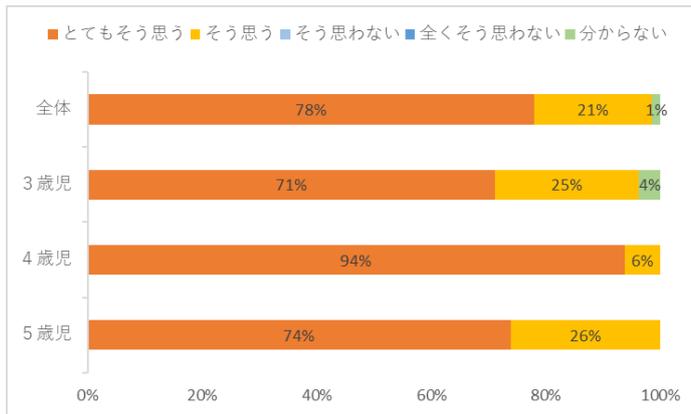
「小学生と交流して、小学生への憧れが強くなったと思います」「外でも交流したところのある学校のお兄さんやお姉さんが、ヤッホー、幼稚園の子だね?と声をかけてくれることもしばしばです」等のご意見をいただきました。小学生との交流は、3年間で同じ学年同士が交流することで、安心して関わったり、年下の子の発達段階を理解して交流できるようにしています。今後も、交流回数や内容など、小学校の教員とも話し合いながら計画し、互いに有意義な交流となるよう努めてまいります。

15 園は、毎月の避難訓練や、麴町警察等と連携した安全指導を実施し、安全のために必要な習慣や行動を身に付け、自分の身を自分で守る力を育てる教育をしている。



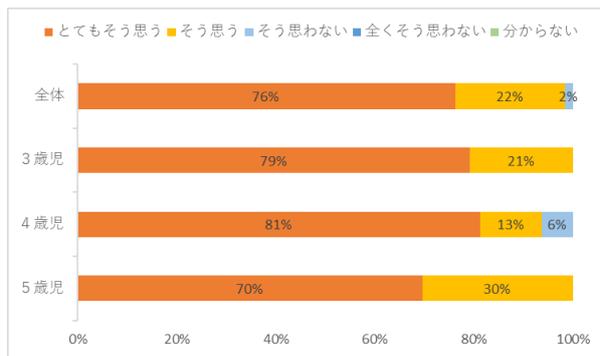
「家でも地震があると小さい揺れでも、ダンゴムシになっています。」「子どもが地震の時の逃げ方、横断歩道の渡り方を教えてくれる」「毎月の避難訓練で、いざという時にきちんと必要な行動がとれる知識は身に付いていると思う」等のご意見をいただきました。一方で、道路での立ち話や車道の歩行など、登降園時の子どもの安全を心配される声がありました。子どもたちに交通安全について繰り返し指導するとともに、保護者の方もお子さんと一緒に確認をしていただけたらと思います。

16 園は、幼稚園だよりや学年だより・保護者会・掲示板を活用した活動の様子の掲示等、教育方針や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。



「幼稚園だよりが、すぐーのタイムラインで確認できるのは、とても良いです」「毎日の掲示やお便りをありがたく思っています」等のご意見をいただきました。一方で、降園連絡のすぐーの配信を希望されるご意見もありました。日々の保育の様子は、引き続き降園時にご確認いただけたらと思います。また、行事の予定や連絡事項については、園だよりに記載があります。前月、当月分の園だよりは、すぐーのタイムラインに載せてありますので、是非ご活用ください。持ち物の変更や全員に必ずご確認いただきたいことがある場合は、すぐーを活用し、周知いたしますので、ご確認をお願いいたします。

17 園は、「にこにこ図書」や「愛児会報そらにむかっの発刊」等の活動に協力し、子どもにとっても保護者にとっても、園生活が充実したものとなるよう、愛児会と連携を図っている。



「愛児会の活動を日頃から支えて、ご協力頂いていると、とても感じております」「本を借りて読むことを楽しみにしている」等のご意見をいただきました。引き続き、子どもや保護者の皆様にとって、園生活が充実したものとなるよう、愛児会との連携を図ってまいります。

<預かり保育時間について>

・「もう少しお迎えの時間が遅くなると嬉しいです」「17：30まで預かりがあるととても助かります」「18時まで預かっていただけると助かります」など、時間の延長を希望されるご意見が複数ありました。現在、千代田区では預かり保育の拡充に向けて制度を整えているところです。決まり次第皆様にお伝えしてまいります。

<お迎えの時間について>

・「帰りの時間を各自決められるとよい」「お迎えの時間がもう少しフレキシブルになるとありがたいです」「時間に融通があれば助かります」などのご意見が複数ありました。安全面への配慮の上、見通しをもって保育をし、子どもたちが落ち着いて遊んだり、降園に向けて気持ちを整えたりできるよう、降園時間は決めさせていただきます。しかし、急なお迎え時間の変更などもお受けできますので、お電話でご連絡ください。また、時間の拡充に伴い、新たに保護者の方が利用しやすい時間と、保育の充実のための時間とを考慮しながらお迎えの時間を検討していきます。

<定員・申込時期について>

・「定員を設けない方がよいのでは。希望者が多い時は先生を増員するなどして、全員受け入れの対応をしていただきたいです」「もう少し制限人数が緩和されたらよいと思う」など、定員についてのご意見を複数いただいております。異年齢で発達段階の異なる子どもたちが一緒に過ごす空間で、異年齢のよさを活かしつつも安全を第一に過ごせるようにするために人数制限を設けています。実際に担任、副担任などが補助に入ることありますが、会議など他業務への支障もあり、毎日難しいところが現状です。次年度、新たに教員数が増えることに伴い、定員の増加も検討してまいります。

・「当日の預かりも可能にしてほしい」というご意見もいただきました。申込状況によって保育内容を検討し、教員数の調整をしているので、先週水曜日までの申込とさせていただきます。ただ、緊急を要するもの、急な預かりに関しては、お受けすることが可能ですので、直接ご相談ください。

<預かり保育の内容について>

・「預かり保育でしか遊べないものがあつたり、普段遊ばない友達と遊べて楽しんでいるようです」「様々な工夫をしてくださり、とても安心して使わせていただいております」というご意見の一方、「預かり保育の時もテーマをもって取り組みますと一層楽しい時間となると思います」「外遊びもしてほしい」というご意見をいただきました。

番町幼稚園では、預かり保育も季節や、子どもたちの様子、興味に応じて遊具を変えています。今は、毛糸を使ったりリアン、電車や着せ替えなどのペーパークラフトなど環境を整え、教材を工夫しています。また、遊ぶ場所も、そら組保育室に限らず、遊びの様子や人数などによって、遊戯室や砂場、前庭などを活用しています。

・「預かり保育の様子が見える化できると嬉しいです」というご意見がありました。現在は学期ごとには子どもたちの写真を掲示しておりますが、毎日の遊びの様子の掲示は難しい状況です。次年度から預かり保育の拡充によって教員の数が増えるようであれば、その日の活動の様子を写真で掲示するなどの工夫もできるようになるのではかと検討しています。

・「お迎えの時に異年齢のお友達とトラブルになっている姿を数回見受けました」「そら組でけんかしたと子どもが言っています」とトラブルに関するご意見もありました。お迎えの時の過ごし方は、今は、絵本の読み聞かせをして落ち着いて降園できるように工夫をしています。また、そら組でも一人一人が落ち着いて自分の遊びができるよう、教材や環境、場所の工夫などを行っておりますが、心配な様子がありましたら、ご遠慮なくそら組担当または担任など、幼稚園の教員までお知らせください。

・「夏の日除けのためにブルーシートを利用されているのですが、見た目があまり良くないと感じました。同じ目的や素材でもグレーやベージュなど、様々な種類があります」とのご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございます。子どもたちのより適切な環境のために、素材、色等見直してまいります。

・「宅配弁当の業者が決まったら、保護者向けに試食会などを開催してほしい」とのご意見をいただいております。昼食時の参観を例年通り実施するとともに、試食会の実施の要望があったことを区に伝えます。

・「親子共に幼稚園が大好きです各家庭に寄り添い、すてきな学びの環境を与えてくださり、本当にありがとうございます」「幼稚園から帰ってくると満足していることが子どもの表情で伝わります」「番町幼稚園で3年間を過ごせることにとても感謝しています。何より子どもが、番町幼稚園が本当に大好きで、楽しく、安心、安全に過ごせる場所であるということが嬉しいです」など、温かいご意見を多数いただきました。今後も園の教育の質を高め、保護者の方と一緒に子どものために努めてまいります。

## II 今年度の課題と次年度の方策について

保護者による教育アンケートおよび職員自己評価を基に、番町幼稚園の伝統と文化を引き継ぎ、「一人一人の子どもが輝き学びを深める幼稚園」であるよう、以下のように、改善してまいります。

### <番町幼稚園の教育のよさと魅力を向上させるために>

- **好きな遊びの中で、一人一人が「何に関心をもち、何を探求し、何を学んでいるか」についての理解をより深め、外部講師を含めた環境を充実させてまいります。**

<理由> ・今年度、保護者アンケートにより、「環境」について高い評価をいただきました。また、令和7年2月24日に、実施した千代田区教育委員会研究協力園発表「探究の扉を開く - 自ら遊び、遊びを紡ぐ」において、都内外より150名の方（オンラインを含む）が参加され、本園の「探究」についての教育内容、実践についても高い評価をいただきました。

<改善点> ・今年度の教育内容及び環境をより充実させるために、新たな外部講師を招聘し、子どもたちの「やってみたい」の「種」がより豊かになっていくよう、予定しております。また、「探究」の視点から、一人一人の子どもたちの経験が成長につながっていくよう、幼児理解を深め、教育内容の質の向上を図ります。

- **番町幼稚園の教育内容を保護者の方、地域の方と共有してまいります。**

<理由> ・すぐーるや降園時の掲示などへの評価をいただいている一方、預かり保育の様子をもっと知りたいというご要望、「番町ラボ」の価値は分かるが好きな遊びと関連が分からない、といったご意見もいただいております。

<改善点> ・保護者の方、地域の方との教育内容の共有として、ホームページの充実を図ってまいります。今年度、ホームページのシステム更新があり、まだ、十分に使いこなせていない状態ではあるのですが、「研究発表」「とうきょうすくわくプログラム（番町ラボ）」等のページを作り、情報を掲示しております。ご覧いただけますと幸いです。

### <番町幼稚園の教育を広げるために>

- **弁当給食を開始し、預かり保育の拡充を図る予定です。**

<理由> ・たくさんの方から、弁当給食への期待、預かり保育の条件整備について、ご意見をいただきました。地域の方からも、「番町幼稚園の教育を受けたいが、今の預かり保育の条件では厳しい」というご意見もいただいております。

<改善点> ・現在のところ、令和7年度弁当開始時（4、5歳児4月11日を予定）から、弁当給食の開始、令和7年度中に、預かり保育18時30分までの実施、預かり保育定員の見直しを予定しております。詳細が決まり次第、保護者の方にはすぐーる等で、地域の方にはホームページでお知らせをいたします。

### Ⅲ 幼稚園運営連絡会による協議結果について（学校関係者評価）

令和7年2月14日（金）に、評価委員13名の皆様（うち3名はご欠席）により、番町幼稚園運営連絡会を実施し、保護者アンケートの結果および今年度の課題と次年度の方策について、説明申し上げ、以下のようなご協議をいただきました。この結果を令和7年度の教育に生かしてまいります。

#### ○ 本年度の教育について

- ・ 番町幼稚園における工夫された教育の取り組みは素晴らしいと感じる。
- ・ 幼児期のクリエイティブな遊びは大変重要である。この取り組みが、小学校、また中学校以降の教育に引き継がれていくことを望む。
- ・ 保護者アンケートの結果から、4歳児の保護者に肯定的な意見が多いように感じる。4歳児の保護者は、昨年度と比較して子どもの成長を感じているのではないだろうか。逆に、5歳児の保護者は、進学への期待感から数値が低めに出るのかもしれない。
- ・ 教育目標について。「考える子」「やりぬく子」は、年齢発達が上がるにつれ、力が育まれていくものである。しかし、「思いやる子」は、幼少期にこそ育まれやすいものではないだろうか。自己肯定感と相手に対する思いやり、どちらも大切に育ててほしい。
- ・ わが子は、修了生であるが、5歳児うめ組の時に関心を強くもって遊んでいたことが、今の興味関心につながっている。幼稚園でのクリエイティブな遊びの経験が大切であったことを改めて感じる。親子で、幼稚園時代を思い出す時間があったことも、今につながっているかもしれない。

#### ○ 次年度の教育について

- ・ 弁当給食の開始や預かり保育の拡充は、現代の保護者のニーズに合っていると感じる。番町幼稚園が未来に向かって存続していくためにも、是非、充実させてほしい。
- ・ 世間一般の SNS での様子を見ると、理不尽な少数意見を受け入れざるを得ない社会になっていると感じるが、意見を精査しながら、確信をもって教育を進めていってほしい。
- ・ 弁当給食は、「保護者の便利」のためだけではなく、「教育」の意図があるということを、保護者に周知してほしい。また、保護者向けの給食試食会等は、実施してほしい。
- ・ 預かり保育の実施や拡充についての地域の認知度が低いように感じる。周知に向けた工夫をお願いしたい。

※以下は、学校評価ではないが、幼稚園運営連絡会委員から是非保護者に伝えていただきたいという内容です。

#### ○ 保護者の方に伝えたいこと

- ・ 番町幼稚園の保護者であるとは限らないが、地域の小さいお子さんを連れた保護者の方で気になる姿が多い。後ろに子どもを乗せているのに交通ルールを守らない自転車、手をつながないで、道路を歩いている親子をよく見かける。事故があつてからでは遅いし、子どもは親の姿を見て育つ。是非、安全に気を付けていただき、子どものモデルになってほしい。子どもと手をつないで歩けるのは幼児期だけである、この時間を大切にしてほしい。